

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

7月19日～25日(第29週)に2件、7月26日(第30週)に3件、合わせて2事例の報告があり、今年の累計は24件(13事例)となりました。

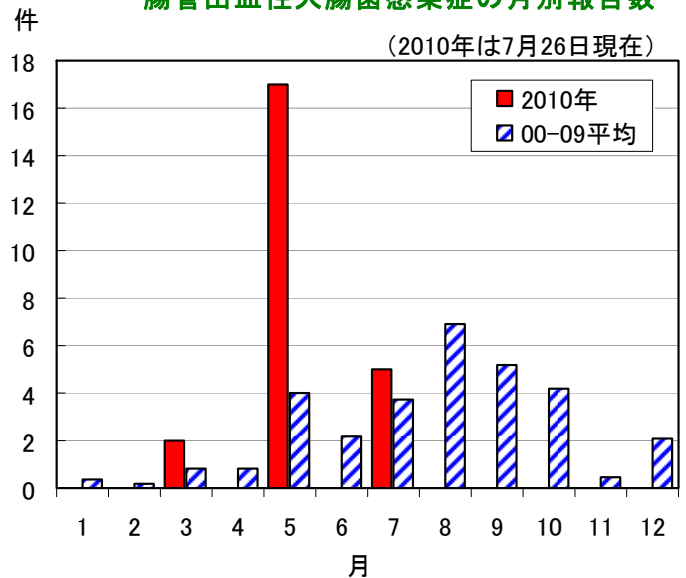
腸管出血性大腸菌は、熱には弱いですが、感染力が強く、わずか数十個でも感染すると考えられていますので、手洗いの励行に心がけるとともに、生肉などの食品の取扱いには十分注意する必要があります(次頁参照)。

2. 流行性耳下腺炎

定点当たり2.13人と多い状態が続いています。安芸区13.5人と特に多く、佐伯区3.7人となっています。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数

(2010年は7月26日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過去5年(注)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過去5年(注)間	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.03		ヘルパンギーナ	52	2.26	2.55	
咽頭結膜熱	12	0.52	0.36		流行性耳下腺炎	49	2.13	0.99	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.39	0.97		RSウイルス感染症	-	-	0.01	
感染性胃腸炎	73	3.17	3.58		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	13	0.57	1.08		流行性角結膜炎	1	0.13	0.73	
手足口病	50	2.17	3.25		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	4	0.17	0.29		無菌性髄膜炎	3	0.43	0.26	
突発性発しん	15	0.65	0.78		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.40	
百日咳	1	0.04	0.07		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	7	137	男性(40歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・3人、男性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	21	女性(10歳未満)・O157、女性(30歳代)・O157
5	ウイルス性肝炎	1	3	男性(50歳代)・B型

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第25週 第26週 第27週 第28週 第29週	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
			2 1 - - -	22 16 23 21 12	9 19 16 8 9	102 84 86 80 73	50 50 29 21 13	88 78 85 75 50	5 9 9 4 15	11 15 19 9 1	3 - - 1 1	27 66 76 76 52	46 33 41 54 49	- 1 - 1 -	1 - 1 - -	17 10 5 7 1	- - - - -	1 - 1 1 3	1 4 - - 4	- - - - -
定点 当り	広島市	第25週 第26週 第27週 第28週 第29週	0.05	0.92	0.38	4.25	2.08	3.67	0.21	0.46	0.13	1.13	1.92	-	0.13	2.13	-	0.14	0.14	-
			0.03	0.67	0.79	3.50	2.08	3.25	0.38	0.63	-	2.75	1.38	0.04	-	1.25	-	-	0.57	-
	全国	第27週 第28週	-	1.00	0.70	3.74	1.26	3.70	0.39	0.83	-	3.30	1.78	-	0.13	0.63	-	0.14	-	-
			-	0.91	0.35	3.48	0.91	3.26	0.17	0.39	0.04	3.30	2.35	0.04	-	0.88	-	0.14	-	-
	全国	第27週 第28週	-	0.52	0.39	3.17	0.57	2.17	0.17	0.65	0.04	2.26	2.13	-	-	0.13	-	0.43	0.57	-
			0.04	0.36	1.19	3.80	1.48	3.86	0.60	0.67	0.05	5.82	1.53	0.06	0.02	0.71	0.01	0.03	0.41	0.01
	全国	第27週 第28週	0.04	0.36	1.05	3.54	1.24	3.94	0.57	0.67	0.06	6.51	1.43	0.05	0.03	0.71	0.02	0.07	0.33	0.04

■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	11	男	2010/06/21	鼻汁(拭い液)	インフルエンザB型
その他の消化器疾患(腸重積症)	2	女	2010/06/15	糞便	アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう

広島市では5月以降、腸管出血性大腸菌感染症の患者が多くなっています。例年、気温が高い5月から10月ごろにかけて多発する傾向にあります。暑い日が続いていますので注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症は、症状のないものから、腹痛や下痢を伴うもの、血便を伴うもの、さらには重症化して溶血性尿毒症症候群(Hemolytic Uremic Syndrome, HUS)を発症するものなど症状は様々ですが、子どもと高齢者は重症化しやすいので特に注意が必要です。

菌に汚染された食物を食べることによって感染しますが、感染力が強く、人から人への二次感染にも注意する必要があります。予防のために次のことに特に注意しましょう。

- 手洗いを励行しましょう。
- 肉・レバーなどはよく加熱し、生食は控えましょう。
- 焼肉の時は、生肉を取るはしと食べる時に使うはしを別々にしましょう。
- 食品は衛生的に取り扱い、調理器具はよく消毒しましょう。
- 乳幼児のオムツの取扱には十分注意しましょう。
- この時期は簡易プールを介して感染することも考えられるので、衛生管理に気をつけるとともに、入る前によく体を洗いましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第29週(7月19日～7月25日)